カメラ

著作権・肖像権について

お客様がFOMA端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。
お客様が本FOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

カメラをお使いになるときのご注意

- レンズ部に指紋や油脂などが付くとピントが合わなくなります。また、画像がぼやけたり、強い光源からすじを引くことなどがあります。撮影前に、柔らかい布で拭いてください。
- 電池残量が少ないときは撮影できません。充電中でも、電池残量が少ないと画像が暗くなったり、画像が乱れることがあります。充電中は撮影しないでください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影したり、保存したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラのレンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CCDの性能を損なうときがありますので、ご注意ください。
- 静止画を連続撮影したり、動画を長時間撮影したり、長時間カメラを起動するとFOMA端末が温かくなり、カメラを終了することがありますが、異常ではありません。しばらくたってからカメラをご利用ください。
- AFモードを切り替えたとき、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。
- カメラのレンズ前面にメカシャッター／NDフィルタを搭載しています。
  - ■ カメラ使用時に動作音が聞こえる場合がありますが異常ではありません。
  - ■ カメラを使用していない状態でレンズ前面が閉じている場合がありますが、異常ではありません。
- 撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく動かないようにしっかりと固定して撮影してください。静止画撮影時はISO感度（高感度撮影）機能／手ぶれ補正撮影機能、動画撮影時は手ぶれ補正撮影機能を使ってください。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なるときがあります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、FOMA端末に表示される画像の動きが遅くなることがあります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生するときがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整することにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できるときがあります。
- 電池残量が少ないときは、撮影時にピクチャーライトが発光しません。
- 撮影した静止画は、DCF 1.0準拠（ExifVer.2.2、JPEG準拠）の形式で保存されます。
  - ・「DCF」とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラなどの画像ファイルなどを、関連機器間で便宜に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
  - ・「Exif」とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加できる静止画用のファイルフォーマットです。

カメラを使用中の動作について

- 撮影した静止画はデータBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダに、動画はデータBOXのｉモーション／ムービーの[カメラ]フォルダに保存されます。また、microSDカード（☞P.352）に保存することもできます。
- 静止画撮影、プリティアレンジカメラ、ショットメモ、ラクラク瞬漢／瞬英ルーペ、コラムリーダー、名刺リーダー、情報リーダー、カメラルーペ、ハンドミラー、モーションデコ、ショットデコを起動すると、着信ランプが点灯します。動画撮影を起動すると着信ランプが点滅します。

- 終了するときは各カメラモードの撮影前のファインダーが表示されている状態でFOMA端末を閉じるか、[終話キー]または[CLR]を押します。
- 各カメラモードで、撮影前のファインダーが表示されている状態で約2分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了し待受画面に戻ります。未保存のデータがあるとき、サブメニューや一括設定変更画面、読み取り結果画面を表示しているとき、カメラモードは終了しません。

シャッター音、撮影開始音／停止音、完了音、フォーカスロック音、セルフタイマー音について

- 静止画撮影、動画撮影、プリティアレンジカメラ、ショットメモ、コラムリーダー（1行読み取りを除く）、名刺リーダー、情報リーダー、カメラルーペ、ハンドミラー、モーションデコ、ショットデコのときは、FOMA端末の設定にかかわらず、それぞれの機能に応じて鳴ります。
- バーコードリーダー、コラムリーダーの1行読み取りのときに鳴る音の音量は、音声電話着信音量の設定に従います。また、次の場合は音は鳴りません。
  - ■ マナーモード設定中
  - ■ 公共モード（ドライブモード）設定中
  - ■ 音声電話着信音量を［サイレント］に設定中
- シャッター音は変更できます（☞P.89）。シャッター音の音量は変更できません。

撮影中の着信やアラームの動作について

- 静止画撮影のプレビュー画面や動画の撮影中画面でアラームが動作すると、撮影は中止されます。アラームを終了するとカメラの画面に戻り、撮影したデータを保存できます。
- 静止画撮影のプレビュー画面表示中や静止画保存中に着信があると、着信画面が表示され電話に出ることができます。通話を終了するとカメラの画面に戻り、撮影した静止画を保存できます。
- 動画撮影中や動画撮影確認メニュー画面表示中に着信があると、着信画面が表示され電話に出ることができます。通話を終了すると動画撮影確認メニュー画面が表示されます。表示に従って操作してください。

撮影ポジションについて

FOMA端末は、図のようにしっかりと持って撮影してください。

タイトルについて

- 撮影（保存）した静止画、動画、名刺画像、情報リーダーの画像、モーションデコ、ショットデコのデコメ®ピクチャには、自動的に撮影日時をもとにしたタイトル名が付けられます。
  例：2010年8月10日午後1時5分7秒に撮影→［100810_130507］
- 連続撮影を行ったとき、末尾に連番（［_01］、［_02］…）が付きます。
- 名刺画像には、末尾に［_meishi］が付きます。
- 情報リーダーの画像には、末尾に［_info］が付きます。
- タイトルの編集については☞P.366

撮影画面のボタン操作

■ 静止画撮影画面／カメラルーペ画面／ハンドミラー画面のボタン操作

操作	ボタン	操作	ボタン
一括設定変更	[i]	マイピクチャのフォルダ一覧画面表示	[2]
カメラギャラリー	[✉]		
撮影モード切替※1／セルフタイマー（1秒）※2	[📖]	AFモード※4	[3]
		セルフタイマー	[4]
		ISO感度※4	[5]
明るさアップ※3	[↑]	画質選択	[6]
明るさダウン※3	[↓]	シーン別撮影※4	[7]
ズームダウン※3※4	[←]	サイズ選択	[8]
ズームアップ※3※4	[→]	ホワイトバランス※4	[9]
チェイスフォーカス※4※5	[CLR]	保存先選択	[*]
		操作ガイド起動	[0]
カメラモード切替	[1]	ピクチャーライト※4	[#]

※1　静止画撮影でAFモードを［顔優先AF］に設定している場合のみ操作できます。
※2　サブカメラを使用している場合のみ操作できます。
※3　ボタンを押し続けると、連続して調整できます。
※4　ハンドミラーでは操作できません。
※5　静止画撮影でチェイスフォーカスを［ON］に設定している場合のみ操作できます。チェイスフォーカスを［OFF］に設定している場合、コンティニュアスAFを［OFF］に設定しているときは、フォーカスロックできます。

■ 動画撮影画面のボタン操作

操作	ボタン	操作	ボタン
一括設定変更	[i]	AFモード	[3]
カメラギャラリー	[✉]	映像・音声切替	[4]
シーン別撮影	[📖]／[7]	サイズ選択	[5]
明るさアップ※	[↑]	画質選択	[6]
明るさダウン※	[↓]	手ぶれ補正	[8]
ズームダウン※	[←]	ホワイトバランス	[9]
ズームアップ※	[→]	保存先選択	[*]
フォーカスロック	[CLR]	操作ガイド起動	[0]
カメラモード切替	[1]	ピクチャーライト	[#]
iモーション／ムービーのフォルダ一覧画面表示	[2]		

※ ボタンを押し続けると、連続して調整できます。
- 横表示中は[↑↓]と[←→]の操作が入れ替わります。FOMA端末を横向きに持って操作してください。

■ プリティアレンジカメラ画面のボタン操作

操作	ボタン	操作	ボタン
一括設定変更	[i]	マイピクチャのフォルダ一覧画面表示	[2]
カメラギャラリー	[✉]		
セルフタイマー（1秒）※1	[📖]	AFモード	[3]
		セルフタイマー	[4]
明るさアップ※2	[↑]	画質選択	[6]
明るさダウン※2	[↓]	サイズ選択	[8]
ズームダウン※2	[←]	保存先選択	[*]
ズームアップ※2	[→]	操作ガイド起動	[0]
フォーカスロック※3	[CLR]	ピクチャーライト	[#]
カメラモード切替	[1]		

※1　サブカメラを使用している場合のみ操作できます。
※2　ボタンを押し続けると、連続して調整できます。
※3　コンティニュアスAFを［OFF］に設定している場合のみ操作できます。

■ ショットメモ画面のボタン操作

操作	ボタン	操作	ボタン
カメラギャラリー	[✉]	カメラモード切替	[1]
明るさアップ※	[↑]	マイピクチャのフォルダ一覧画面表示	[2]
明るさダウン※	[↓]		
ズームダウン※	[←]	サイズ選択	[8]
ズームアップ※	[→]	操作ガイド起動	[0]

※ ボタンを押し続けると、連続して調整できます。

■ ラクラク瞬漢／瞬英ルーペ画面のボタン操作

明るさアップ※	[上]	フォーカスロック	[発信]
明るさダウン※	[下]	カメラモード切替	1
ズームダウン※	[左]	AFモード	3
ズームアップ※	[右]		

※ ボタンを押し続けると、連続して調整できます。

■ バーコードリーダー画面のボタン操作

ピクチャーライトON／OFF切替	[i]	フォーカスロック	[発信]
		カメラモード切替	1
静止画撮影切替	[メニュー]	保存データ	2
明るさアップ※	[上]	AFモード切替	3
明るさダウン※	[下]		

※ ボタンを押し続けると、連続して調整できます。

■ コラムリーダー画面のボタン操作

領域選択	[i]	ズームダウン※	[左]
1行読み取り／コラムリーダー	[メール]	ズームアップ※	[右]
		フォーカスロック	[発信]
明るさアップ※	[上]	カメラモード切替	1
明るさダウン※	[下]	AFモード	3

※ ボタンを押し続けると、連続して調整できます。

■ 名刺リーダー画面のボタン操作

静止画撮影切替	[メニュー]	フォーカスロック	[発信]
明るさアップ※	[上]	カメラモード切替	1
明るさダウン※	[下]	AFモード	3

※ ボタンを押し続けると、連続して調整できます。

■ 情報リーダー画面のボタン操作

明るさアップ※	[上]	フォーカスロック	[発信]
明るさダウン※	[下]	カメラモード切替	1
ズームダウン※	[左]	AFモード	3
ズームアップ※	[右]		

※ ボタンを押し続けると、連続して調整できます。

■ モーションデコ画面／ショットデコ画面のボタン操作

静止画・アニメモード切替※1	[i]	ズームアップ※2	[右]
		フォーカスロック	[発信]
明るさアップ※2	[上]	カメラモード切替	1
明るさダウン※2	[下]	サイズ変更	2
ズームダウン※2	[左]		

※1　ショットデコでのみ操作できます。
※2　ボタンを押し続けると、連続して調整できます。

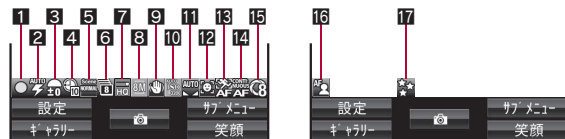
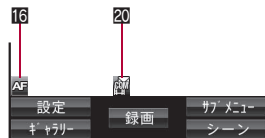
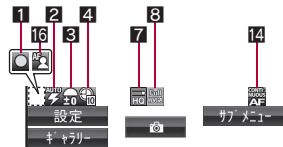
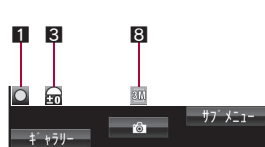
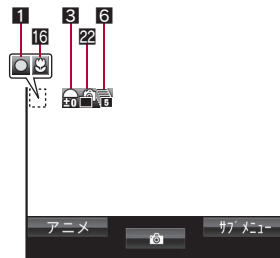
撮影画面の見かた

カメラモードでは、ディスプレイに次のマークが表示されます。

● 全画面モード（☞P.215）にするとマークは表示されません。

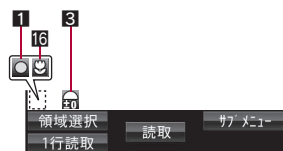
静止画撮影画面

カメラ

次ページへ続く

動画撮影画面

プリティアレンジカメラ画面

ショットメモ画面

ラクラク瞬漢／瞬英ルーペ画面／コラムリーダー画面／名刺リーダー画面／情報リーダー画面／モーションデコ画面

● 画面はコラムリーダーの画面です。

バーコードリーダー画面

ショットデコ画面

1 フォーカスロック表示

(緑色)	フォーカスロックされたとき
(赤色)	フォーカスを合わせているとき

2 ピクチャーライト表示

AUTO	オート		ON

3 画像の明るさ表示

±0	暗い ← 標準 → 明るい

4 セルフタイマー表示

	1秒		5秒
	2秒		10秒

5 シーン別撮影表示

静止画撮影

	標準		夜景＋人物		料理
	人物		風景		文字
	夜景		スポーツ		逆光

動画撮影

	標準		風景（ソフト）
	人物		風景（シャープ）

6 連続撮影表示

	ON、マニュアル（40枚用）
	ON、マニュアル（10枚用）
	ON、マニュアル（８枚用）
	ショットデコ（５枚用）
～	連続撮影枚数共通（２～40枚）
	ベストセレクトフォト
	ストロボフォト

7 画質表示

	ハイクオリティ		ノーマル
	ファイン		エコノミー（動画撮影のみ）

8 撮影サイズ表示

静止画撮影

	８M：2448×3264		待受：480×854
	５M：1944×2592		VGA：480×640
	３M：1536×2048		QVGA：240×320
	フルHD：1080×1920		QCIF：176×144

動画撮影

	FWVGA：864×480		QCIF：176×144
	VGA：640×480		sQCIF：128×96
	QVGA：320×240		

9 手ぶれ補正撮影表示

	オート（静止画撮影）／ON（動画撮影）
	オート（強）（静止画撮影のみ）

10 ISO感度表示

	オート（～3200）
	高感度オート（～12800）
～	100～12800（フルHD以下）

11 ホワイトバランス表示

	オート		蛍光灯		曇り／日陰
	電球		太陽光		

12 撮影モード表示

	笑顔フォーカスシャッターモード
	振り向きシャッターモード

13 チェイスフォーカス表示

	ON

14 コンティニュアスAF表示

	ON

15 長時間露光表示

	ON（１秒）		ON（４秒）
	ON（２秒）		ON（８秒）

16 AFモード表示

	センターAF／標準		接写
	顔優先AF（静止画撮影・プリティアレンジカメラのみ）		マニュアルフォーカス（静止画撮影・動画撮影・プリティアレンジカメラのみ）

次ページへ続く

⑰ エフェクト撮影表示

アイコン	表示	アイコン	表示
◪	モノクロ	▦	残像(動画撮影のみ)
◪	セピア	◎	波紋
★	きらきら	❁	万華鏡(大)
▨	色えんぴつ	❁	万華鏡(小)
◉	円ソフトフレーム(静止画撮影のみ)	◎	魚眼

⑱ ファイルサイズ制限表示

アイコン	表示
✉S	メール用(短)(500Kバイト)
✉L	メール用(長)(2Mバイト)

⑲ 映像・音声切替表示

アイコン	表示
▦ ♀	映像+音声
▦	映像のみ
♀	音声のみ

⑳ 共通再生モード表示

アイコン	表示
COM	ON

㉑ QRコード連結番号表示

アイコン	表示
1～16	分割されたデータを読み取るときに、何枚目を読み取っているかを表示

㉒ 静止画・アニメモード切替表示

アイコン	表示	アイコン	表示
▣	静止画モード	▣	アニメモード

静止画撮影

静止画を撮影する

- 撮影をするときは、シャッター音が鳴り、静止画を確認するためのプレビュー画面が表示されます。
- AFモードを[顔優先AF]に設定している場合、通常撮影のほかに次の撮影モードを利用できます。
  - ■ 笑顔フォーカスシャッターモード：人物の笑顔を検出すると自動的に撮影します。
  - ■ 振り向きシャッターモード：新たに人物の顔を検出する(顔がカメラを向く)と自動的に撮影します。

1 待受画面で📷

- カスタムメニューでは：[CAMERA]▶[静止画撮影]
- バーコード／名刺を検出すると、自動でバーコードリーダー／名刺リーダーが起動します(☞P.215)。
- ズーム(☞P.219)を利用したり、一括設定変更画面(☞P.224)やカメラギャラリー(☞P.368)を表示できます。
- 自分を撮影：サブカメラに切り替える(☞P.215)

2 ◉

- 静止画を撮影します。
- 📖を押すたびに、笑顔フォーカスシャッターモード→振り向きシャッターモード→通常撮影の順に切り替わります。
  - ・笑顔フォーカスシャッターモード／振り向きシャッターモード中でも、◉を押すと静止画撮影できます。
  - ・一度撮影すると通常撮影に戻ります。

3 ◉

- 静止画を保存します。
- 静止画を削除して撮影し直す：CLR
- メールで送信したり、ブログ／SNSに投稿(☞P.226)：✉▶送信方法を選んでメール／デコメール®を作成・送信

- 高速赤外線通信で送信(IrSS™機能)(☞P.336):[📖]▶送信方法を選ぶ▶◉

サブカメラで撮影したとき

- ディスプレイには鏡像(左右逆向き)で表示されますが、正像(見たとおりの向き)で保存されます。

■ 静止画撮影画面のサブメニュー操作

[カメラ切替]
- メインカメラとサブカメラを切り替えます。

[カメラモード切替]▶カメラモードを選ぶ▶◉

[撮影メニュー]

▶[ISO感度]	☞P.223
▶[ホワイトバランス]	☞P.224
▶[ピクチャーライト]▶設定を選ぶ▶◉	
▶[シーン別撮影]	☞P.223
▶[セルフタイマー]	☞P.220
▶[連続撮影]	☞P.216
▶[長時間露光]	☞P.222
▶[明るさ調整]▶設定を選ぶ▶◉	
▶[フレーム撮影]	☞P.222
▶[エフェクト撮影]	☞P.222

[フォーカス設定]

▶[AFモード]	☞P.221
▶[チェイスフォーカス]	☞P.221
▶[コンティニュアスAF]	☞P.222

[手ぶれ補正]	☞P.223
[サイズ選択]	☞P.220
[画質選択]	☞P.220

[カメラ設定]

▶[顔登録]	☞P.225
▶[笑顔レベル]	☞P.225

▶[自動切替モード]▶設定を選ぶ▶◉
- バーコード/名刺を検出したときに、自動でバーコードリーダー/名刺リーダーを起動するかどうかを設定します。

▶[自動保存モード]▶設定を選ぶ▶◉
- 撮影した静止画を自動的に保存するかどうかを設定します。

▶[全画面モード切替]

▶[カメラ設定保持]	☞P.226
[保存先選択]	☞P.225
[データBOX表示]	
[操作ガイド]	

[カメラ切替]について

- サブカメラに切り替えた直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまでに時間がかかることがあります。

[ピクチャーライト]について

- ピクチャーライトを[オート]または[ON]に設定すると、撮影時にピクチャーライトが点灯します。
  - ■ [オート]:周囲の明るさによって自動的に点灯
  - ■ [ON]:周囲の明るさに関係なく点灯
- ピクチャーライトは、暗い場所での撮影を補助するものであり、通常のカメラのストロボのような光量はありませんので、ご注意ください。
- 蛍光灯の下などで白い部分が多い印刷物などを接写する場合、撮影角度とピクチャーライトの点灯/消灯により、FOMA端末の色や影が映りこむ場合がありますが異常ではありません。

[自動切替モード]について

- 撮影サイズが「QCIF:176×144」のときは利用できません。
- カメラモードは約10cmの距離で自動切り替えを行います。ただし、バーコードや名刺が小さく表示されている場合やディスプレイの中央に表示されていない場合は、カメラモードが自動で切り替わらないときがあります。

[自動保存モード]について

- 自動保存モードを[ON]に設定すると、撮影直後の画像編集や画面設定などの操作はできなくなります。
- 撮影した静止画は、保存先選択で設定した保存先に自動的に保存されます。

■ 静止画プレビュー画面のサブメニュー操作

[保存先選択]	☞P.225
[画像編集]	☞P.337
[プチエステ]	☞P.339
[画面設定]	
▶[待受画面]▶[はい]	
▶[電話帳]▶電話帳に登録	
▶[スケジュール]▶スケジュールを登録	
[位置情報貼付]▶◉▶[はい] ● 現在地確認の詳細については☞P.315	
[正像で確認]	
[鏡像で保存]	
[全画面モード切替]	

[画面設定]について

- 保存先をmicroSDカードに設定して撮影しているときは利用できません。

[待受画面]について

- 撮影サイズによっては、表示サイズ選択画面が表示されます。表示サイズを選んでください。

[電話帳]について

- 撮影サイズが「8M:2448×3264」、「8M:スマートリサイズズーム」、「5M:1944×2592」のときは利用できません。

[スケジュール]について

- 表示されるスケジュールの予定登録画面には、あらかじめ次の内容が登録されます。
  - ■ 日時:静止画の撮影日時　■ 画像:静止画

[鏡像で保存]について

- フレームを設定して撮影(☞P.222)したときは、鏡像で保存することはできません。

いろいろな連続撮影をする<連続撮影>

- [ON]に設定したときは、約0.06秒間隔で静止画を連続して自動的に撮影します。[マニュアル]に設定したときは、自分のシャッター操作で静止画を連続して撮影します。
- 連続撮影できる撮影サイズと最大撮影枚数は次のとおりです。

待受:480×854	8枚	QVGA:240×320	40枚
VGA:480×640	10枚	QCIF:176×144	40枚

- [ベストセレクトフォト]に設定したときは、シャッター操作をする直前から連続撮影した画像を表示します。撮影枚数は、[ON]に設定したときと同様です。
- [ストロボフォト]に設定したときは、約0.13秒間隔で連続して撮影し、それらを合成した1枚の画像を作成します。撮影サイズに応じて7～20枚撮影しますが、撮影したすべての画像が合成に使われるとは限りません。
- フレーム撮影を組み合わせて撮影できます。

1 静止画撮影画面で📷▶[撮影メニュー]▶[連続撮影]▶設定を選ぶ▶◉

- [ベストセレクトフォト]を選択すると撮影開始音が鳴ります。

2 ◉

- 1枚目が撮影され、以降自動的に撮影されます。
- マニュアル撮影のときは、連続撮影最大枚数まで◉を押します。
- 全枚数を撮影または📷を押して連続撮影を中止すると、連続撮影プレビュー画面が表示されます。
- ストロボフォトのときは合成した画像が表示されます。
  - ・◉を押すと、撮影した画像を保存して連続撮影プレビュー画面を表示します。
  - ・CLRを押すと、撮影した画像を保存せず連続撮影プレビュー画面を表示します。

3 画像を選ぶ▶◉▶◉

- 画像を保存します。
- すべての画像を保存：[i]
- メールで送信したり、ブログ／SNSに投稿（☞P.226）：[✉]▶送信方法を選んでメール／デコメール®を作成・送信

- 自動保存モード（☞P.215）が［ON］のときは、自動的に全件保存されます。
- 連続撮影中に着信やアラームが動作すると、撮影中の静止画は保持され、連続撮影は中止されます。ただし、着信やアラーム動作のタイミングによっては、撮影中の静止画が破棄され、静止画撮影画面に戻ることもあります。
- 連続撮影中にFOMA端末を閉じたり、[終話]を押すと、撮影を中止してカメラモードを終了します。
- ストロボフォト撮影時にFOMA端末を動かすと、［撮影に失敗しました］と表示され、撮影ができない場合がありますのでご注意ください。

■ 連続撮影プレビュー画面のサブメニュー操作

［全件保存］

［全件削除］

［1件保存］

［1件削除］

［位置情報貼付］▶◉▶［はい］
- 現在地確認の詳細については☞P.315

動画撮影

動画を撮影する

- 撮影開始音が鳴り、撮影が開始されます。ただし、撮影されるまでに時間がかかることがあります。撮影中は着信ランプが点灯します（映像・音声切替が［音声のみ］のときは点滅します）。
- ピクチャーライトの設定が［ON］の場合、撮影を開始するとピクチャーライトが点灯し、停止すると消灯します（映像・音声切替が［音声のみ］のときは点灯しません）。なお、撮影中に約3分経過すると自動的に消灯します。
- 撮影中に撮影残時間表示が00:00:00になったとき（撮影中にファイルサイズが制限に達したときや、microSDカードの空き容量がなくなったとき）は、自動的に撮影が停止します。撮影した動画は保存／メール作成／再生／取消ができます。
- ピントが合わない場合は、フォーカスロックをご使用ください（☞P.224）。

1 カスタムメニューで［CAMERA］▶［動画撮影］

- ズーム（☞P.219）を利用したり、一括設定変更画面（☞P.224）やカメラギャラリー（☞P.368）を表示できます。
- 自分を撮影：サブカメラに切り替える（☞P.218）

2 ◉

- 中央の被写体に自動的にピントを合わせて撮影します。

3 撮影を止めるときは◉

- 撮影停止音が鳴り、動画撮影確認メニュー画面が表示されます。

4 ［保存］

- 動画を保存します。
- メールで送信（☞P.226）：［メール作成］▶メールを作成・送信
- 動画の再生：［再生］

カメラ

次ページへ続く▶▶

- 動画を取り消す：[取消]▶[はい]

- 撮影残時間表示は目安であり、撮影対象により、撮影開始前の残時間表示よりも長く撮影できるときや、00:00:00より前に撮影が自動的に停止するときがあります。
- 撮影中にFOMA端末を閉じた場合やFOMA端末の向きを変えた場合は、次のようになります。
  - ■ 撮影開始から約1秒以上でFOMA端末を閉じたとき：撮影停止し、動画撮影確認メニュー画面が表示される
  - ■ 撮影開始から約1秒未満でFOMA端末を閉じたとき：撮影停止し、カメラモードを終了する
  - ■ 撮影開始から約1秒未満でFOMA端末の向きを変えたとき：撮影停止し、動画撮影画面に戻る

  ただし、映像・音声切替が[音声のみ]のときは、録音を継続します。FOMA端末を閉じたときは、サブディスプレイに[ボイス録音中]と表示されます。
- 動画撮影中にボタン操作を行うと、操作音が録音されるときがありますので、ご注意ください。

■ 動画撮影画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、静止画撮影画面のサブメニュー操作（☞P.215）を参照してください。
  - ■ カメラ切替　■ カメラモード切替
  - ■ 撮影メニュー（ホワイトバランス、ピクチャーライト、シーン別撮影、セルフタイマー、明るさ調整、エフェクト撮影）
  - ■ 手ぶれ補正　■ サイズ選択　■ 画質選択
  - ■ カメラ設定（カメラ設定保持）　■ 保存先選択
  - ■ データBOX表示　■ 操作ガイド

[撮影メニュー]

▶[AFモード] ☞P.221

[映像・音声切替]▶設定を選ぶ▶⦿
- 映像と音声の組み合わせを設定します。

[ファイルサイズ制限]▶ファイルサイズを選ぶ▶⦿

[共通再生モード]▶設定を選ぶ▶⦿
- 他のFOMA端末でも再生できるようにするかどうかを設定します。

[カメラ設定]

▶[ノイズキャンセラ]▶設定を選ぶ▶⦿
- 音声のノイズを少なくするかどうかを設定します。

▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ▶⦿
- 撮影時のバックライトの点灯時間を設定します。

[ファイルサイズ制限]について
- ｉモーションメールで送信するときは、[メール用（短）]、[メール用（長）]に設定してください。メール添付可能なサイズで撮影できます。[メール用（短）]を選ぶとファイルサイズを約500Kバイトに制限します。[メール用（長）]を選ぶとファイルサイズを約2Mバイトに制限します。
- [制限なし]に設定した場合、保存先がFOMA端末のときは約10Mバイトまで、保存先がmicroSDカードのときは制限なしで撮影します。撮影時間は最長約1時間になります（映像・音声切替が[音声のみ]のときを除く）。
- 撮影サイズによって、設定できるファイルサイズは変わります。
- 共通再生モードを設定しているときは、[メール用（短）]に設定され、変更できません。

[ノイズキャンセラ]について
- ノイズキャンセラでは、音声を明瞭にするために音声の加工処理をしています。周囲のノイズ状態や話し方により、音声の聞こえ方が変わることがあります。

[バックライト点灯時間]について
- [常にON]に設定したときでも、ファインダー以外の画面ではバックライトの点灯時間は照明時間設定に従います。

[共通再生モード]について
- 撮影サイズは「QCIF：176×144」、画質は[ファイン]、ファイルサイズ制限は[メール用（短）]（500Kバイト）、手ぶれ補正は[OFF]、映像・音声切替は[映像＋音声]、エフェクト撮影は[OFF]になり、変更できません。

撮影時の設定を変える

- 撮影サイズによっては設定できないものや、サブカメラでは設定できないものもあります。
- 設定の組み合わせによっては、自動的に設定が解除されたり変更される場合があります。

明るさを調整する<明るさ調整>

明るさを５段階で調整できます。

1 撮影画面で◎

デジタルズームを利用する<ズーム調整>

1 撮影画面で◎

- バーコードリーダー、コラムリーダー（１行読み取り）、名刺リーダーでは利用できません。

静止画モード

動画モード

- ズームできる範囲（倍率）は撮影サイズによって異なります。

	撮影サイズ	最大倍率（ズームの段階）	
		メインカメラ	サブカメラ
静止画撮影	８M：2448×3264	約2.8倍（10段階）	－
	８M：スマートリサイズズーム	約5.1倍（14段階）	－
	５M：1944×2592	約1.1倍（３段階）	－
	３M：1536×2048	約1.4倍（５段階）	－
	フルHD：1080×1920	約1.6倍（６段階）	－
	待受：480×854	約7.2倍（13段階）	等倍（－）
	VGA：480×640	約10.2倍（15段階）	等倍（－）
	QVGA：240×320	約20.4倍（18段階）	約4.0倍（９段階）
	QCIF：176×144	約20.4倍（18段階）	約5.4倍（12段階）
動画撮影	FWVGA：864×480	約2.8倍（10段階）	－
	VGA：640×480	約3.6倍（12段階）	－
	QVGA：320×240	約6.3倍（15段階）※	約1.5倍（５段階）
	QCIF：176×144	約10.2倍（17段階）※	約2.7倍（11段階）
	sQCIF：128×96	約10.2倍（17段階）※	約3.7倍（14段階）

※ 手ぶれ補正が[OFF]のとき

撮影サイズを設定する<サイズ選択>

撮影サイズが大きいほど、解像度が高いきれいな画像が撮影できますが、データ量が多くなり撮影できる枚数/撮影できる時間は少なくなります(☞P.506)。

● 静止画の各撮影サイズは主に次の用途でご利用いただけます。

撮影サイズ	用途
8M:2448×3264	パソコンでの表示や出力するのに適したサイズです。 ● L判サイズのプリントには「3M:1536×2048」以上のサイズが適しています。
8M:スマートリサイズズーム※	
5M:1944×2592	
3M:1536×2048	
フルHD:1080×1920	
待受:480×854	FOMA端末のディスプレイと同じサイズです。待受画面に設定する静止画などを撮影するときに便利です。
VGA:480×640	iモードメールに添付してiモード端末やパソコンなどに送信するのに適したサイズです。
QVGA:240×320	
QCIF:176×144	

※ ズームの倍率に合わせて、最適な撮影サイズ(「8M:2448×3264」/「5M:1944×2592」/「3M:1536×2048」/「VGA:480×640」)に自動で変更します。

● カメラモードやメインカメラ/サブカメラによって設定できるサイズは異なります。
● 静止画撮影、プリティアレンジカメラの場合、メインカメラとサブカメラについてそれぞれ設定できます。
● 動画撮影の場合、メインカメラとサブカメラは同じサイズになります。ただし、メインカメラを「FWVGA:864×480」または「VGA:640×480」に設定してサブカメラに切り替えたときは、「QCIF:176×144」になります。

1 静止画/動画/プリティアレンジカメラ撮影画面で[📷]▶[サイズ選択]

2 サイズを選ぶ▶◉

画質を設定する<画質選択>

画質が高いほど、きれいな画像が撮影できますが、データ量が多くなり撮影できる枚数/撮影できる時間は少なくなります(☞P.506)。

画質	説明
ハイクオリティ	最高画質で撮影します。
ファイン	高画質で撮影します。
ノーマル	標準の画質で撮影します。
エコノミー(動画撮影のみ)	撮影できる時間を増やして撮影します。

● 静止画撮影、プリティアレンジカメラの場合、メインカメラとサブカメラについてそれぞれ設定できます。

1 静止画/動画/プリティアレンジカメラ撮影画面で[📷]▶[画質選択]

2 画質を選ぶ▶◉

セルフタイマーを使って撮影する<セルフタイマー>

1 静止画/動画/プリティアレンジカメラ撮影画面で[📷]▶[撮影メニュー]▶[セルフタイマー]

2 セルフタイマー時間を選ぶ▶◉

3 ◉

• セルフタイマー音が鳴り、セルフタイマーが動作します。設定した時間が経過すると、シャッター音/撮影開始音が鳴り、自動的に撮影されます。

● セルフタイマー動作中に着信やアラームが動作すると、セルフタイマーは中止され、撮影画面に戻ります。

AFモードを設定する<AFモード>

被写体に合わせて、AF(オートフォーカス)モードの切り替えができます。

- 静止画撮影、プリティアレンジカメラのときは、撮影サイズを変更すると[顔優先AF]になります。
- 設定できるAFモードは次のとおりです。

センターAF※1	フォーカスが動作し、中央の被写体にピントを合わせます。
標準※2	
顔優先AF※1	人物の顔を検出して、顔にピントを合わせます。人物の顔を検出すると、被写体が動いても顔検出枠が顔を追跡してピントを合わせます。複数の顔を検出した場合は、どの顔にピントを合わせるかを指定することができます。
接写	近距離(約10cm)の撮影に適したモードです。
マニュアルフォーカス※3	手動でピントを合わせることができます。

※1 静止画撮影、プリティアレンジカメラのみ設定できます。
※2 静止画撮影、プリティアレンジカメラでは設定できません。
※3 静止画撮影、動画撮影、プリティアレンジカメラのみ設定できます。

例:静止画撮影のとき

1 静止画撮影画面で📷▶[フォーカス設定]▶[AFモード]

2 AFモードを選ぶ

◆ **[センターAF]**

◆ **[顔優先AF]**

- 最大5人までの顔を検出できます。複数の顔検出枠が表示されているときは、赤色の顔検出枠にピントが合います。
- ピントを合わせる顔を指定するには、Qを押します。
- 顔検出枠表示中に登録した顔情報を表示することができます(☞P.226)。

◆ **[接写]**

◆ **[マニュアルフォーカス]▶⊕でピントを調整▶⊙**

- フォーカス調整バーが表示されます。中央のラインが最も青色になるように調整してください。

現在のフォーカス位置

フォーカス調整バー

- [顔優先AF]に設定しているとき、顔の向きや被写体との距離、撮影環境によっては、正しく顔を検出できないことがあります。また、顔以外の被写体や背景を、顔として誤検出することがあります。
- 笑顔フォーカスシャッターモード/振り向きシャッターモード中にAFモードを変更すると、通常撮影になります。

チェイスフォーカスを使って撮影する<チェイスフォーカス>

一度被写体を選択すると、被写体が動いても被写体を追いかけて撮影できます。

- 静止画撮影サイズが「QCIF:176×144」のときは、チェイスフォーカスを設定できません。

1 静止画撮影画面で📷▶[フォーカス設定]▶[チェイスフォーカス]

2 設定を選ぶ▶⊙

- [ON]に設定した場合は、撮影画面で✓を押します。フォーカス枠内の被写体にピントを合わせ、チェイスフォーカスを開始します(選択した被写体に青い枠が表示されます)。チェイスフォーカスを解除するときは再度✓を押してください。

3 ⊙

コンティニュアスAFを使って撮影する<コンティニュアスAF>

フォーカス枠内に常にピントを合わせます。撮影ボタンを押すとフォーカス動作せず撮影することができ、動きのある被写体でも、ピントが合った写真を撮影できます。

1 静止画／プリティアレンジカメラ撮影画面で[カメラ]▶[フォーカス設定]▶[コンティニュアスAF]

2 設定を選ぶ▶◉

3 ◉

● コンティニュアスAFを設定していない場合は、フォーカス動作終了後に撮影します。

長時間露光を使って撮影する<長時間露光>

シャッターを長時間開いたままにして撮影します。花火など動きのある被写体や、夜景など光の少ない場所で撮影するときに使用します。

1 静止画撮影画面で[カメラ]▶[撮影メニュー]▶[長時間露光]

2 時間を選ぶ▶◉

3 ◉

● 長時間露光を設定中は、手ぶれに注意して撮影をしてください。

フレームを重ねて撮影する<フレーム撮影>

撮影する静止画にフレームを設定し、フレーム付きで撮影できます。

- 撮影サイズが「待受:480×854」、「VGA:480×640」、「QVGA:240×320」、「QCIF:176×144」のときにフレーム撮影できます。
- 撮影サイズとフレームの縦横が異なるときは、フレームが90度回転します。
- サイトなどからダウンロードしたフレームを利用してフレーム撮影できます。

1 静止画／プリティアレンジカメラ撮影画面で[カメラ]▶[撮影メニュー]▶[フレーム撮影]▶[ON]

2 フレームを選ぶ▶[i]

- フレームの確認:フレームを選ぶ▶◉

3 ◉

いろいろな効果を付けて撮影する<エフェクト撮影>

撮影する静止画や動画にエフェクトを設定し、色合いやタッチを変えて撮影できます。

- 静止画撮影サイズが「QVGA:240×320」、「QCIF:176×144」、または動画撮影サイズが「QVGA:320×240」、「QCIF:176×144」、「sQCIF:128×96」のときにエフェクト撮影できます。

エフェクトの種類

OFF	エフェクトを解除する
モノクロ	モノトーンで濃淡を表現
セピア	セピア色で濃淡を表現
きらきら	光輝部をさらに輝かせる効果を表現
色えんぴつ	色つきの線画で表現
円ソフトフレーム※1	画面の周りにぼかしの効果を付ける
残像※2	動きの残像を表現
波紋	波紋効果を付ける
万華鏡(大)	万華鏡の効果を表現(模様が大きい)
万華鏡(小)	万華鏡の効果を表現(模様が小さい)
魚眼	魚眼レンズでの効果を表現

※1 静止画撮影のみに設定できます。
※2 動画撮影のみに設定できます。

1 静止画／動画撮影画面で[カメラ]▶[撮影メニュー]▶[エフェクト撮影]▶エフェクトの種類を選ぶ▶◉

2 ◉

カメラ

- 動画撮影時は、エフェクト撮影を設定すると、撮影サイズによって画質が次のように設定され、変更することはできません。
  - 「QVGA:320×240」、「QCIF:176×144」:[ハイクオリティ]
  - 「sQCIF:128×96」:[ファイン]
- 動画撮影時は、エフェクト撮影を設定すると、手ぶれ補正が自動的に[OFF]になります。このあと、エフェクト撮影を解除すると、エフェクト撮影設定前の手ぶれ補正の設定になります。

高感度撮影を行う<ISO感度>

光量の足りない場所でも、明るく、ぶれの少ない写真が撮影できます。

- ISO感度を小さい数値に設定するほど明るい場所での撮影に適しており、大きい数値にするほど暗い場所での撮影に適しています(ノイズは大きくなります)。

	撮影環境の目安
ISO感度	100 ← 3200 → 12800 晴天時の屋外など　曇り・雨天時/室内など　暗い場所など

- [オート(～800)]、[オート(～3200)]、[高感度オート(～12800)]に設定した場合、被写体の条件に合わせてカメラが自動的に感度を設定します。明るさが不足する環境では、次の範囲で自動的にISO感度を高くします。
  - オート(～800):ISO感度100～800
  - オート(～3200):ISO感度100～3200
  - 高感度オート(～12800):ISO感度100～12800

1 静止画撮影画面で📷▶[撮影メニュー]▶[ISO感度]

2 設定を選ぶ▶⦿

3 ⦿

- 撮影サイズによって設定できるISO感度は異なります。

手ぶれを補正して撮影する<手ぶれ補正>

- 静止画撮影サイズが「QVGA:240×320」、「QCIF:176×144」、または動画撮影サイズが「FWVGA:864×480」、「VGA:640×480」のときは、手ぶれ補正撮影できません。
- 静止画撮影では[オート(強)]を設定できます。[オート]よりも動きを優先した撮影を行うことができます。

1 静止画/動画撮影画面で📷▶[手ぶれ補正]

2 設定を選ぶ▶⦿

3 ⦿

- 動きの速い被写体や暗い場所などの手ぶれが発生しやすい場合でも、安定した撮影ができます。
- 手ぶれを補正して撮影すると、被写体や周囲の明るさによっては撮影画像にノイズがのったり、暗くなったりすることがありますが故障ではありません。そのときは、手ぶれ補正を[OFF]にして撮影してください。

撮影環境や被写体に応じた設定を行う<シーン別撮影>

自然な色合いやピントで撮影できるよう、撮影環境や被写体に応じた撮影モードを設定できます。

1 静止画/動画撮影画面で📷▶[撮影メニュー]▶[シーン別撮影]

2 モードを選ぶ▶⦿

- モードを選んで[i]を押すと、モードについての説明が表示されます。

- 静止画撮影時、シーン別撮影を[自動認識]に設定すると、被写体に合わせて自動的に[標準]/[人物]/[夜景]/[夜景+人物]/[風景]/[料理]/[文字]のいずれかのモードに切り替えます。撮影環境や被写体によっては正しいモードにならない場合があります。

色合いを調節する<ホワイトバランス>

撮影時の光の状況に応じて、色合いを調節して撮影できます。

オート	自動的に色合いを調節します。
電球	白熱灯の下での撮影に適しています。
蛍光灯	蛍光灯の下での撮影に適しています。
太陽光	晴れた日の屋外での撮影に適しています。
曇り／日陰	曇りの日の屋外や、日陰での撮影に適しています。

1 静止画／動画撮影画面で[📷]▶[撮影メニュー]▶[ホワイトバランス]

2 ホワイトバランスの種類を選ぶ▶◉

フォーカスロックで撮影する<フォーカスロック>

ピントを合わせた状態でフォーカスをロックして、構図を変えて撮影できます。

- ピントが合わない場合は、フォーカスロックをご使用ください。
- フォーカスがロックされると音が鳴ります(動画撮影、ラクラク瞬漢／瞬英ルーペを除く)。
- 笑顔フォーカスシャッターモード／振り向きシャッターモード中、コンティニュアスAF設定中、ショットメモでは利用できません。

1 撮影画面で被写体にピントを合わせて[✓](1秒以上)

- 静止画撮影以外の場合や静止画撮影でチェイスフォーカスが[OFF]の場合は、[✓]でもロックできます。
- 状態に応じてフォーカスロック表示マークの色が変わります(☞P.212)。
- フォーカスロックの解除:[✓]

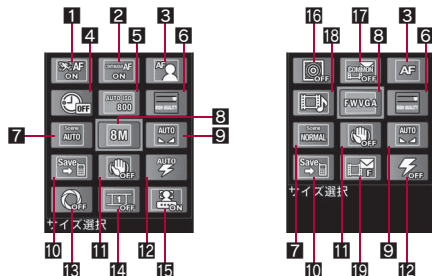
2 構図を変えて◉

- 被写体との距離は変えないでください。

● 動画撮影時は、撮影中もフォーカスロックをかけることができます。撮影中に被写体との距離が変化してピントが合わなくなったときにご使用ください。ただし、フォーカスロックするときに雑音が入ることがありますのでご注意ください。

撮影時の設定を一括変更する<一括設定変更>

撮影時によく使う機能の設定内容を一覧表示したり、一括して変更することができます。

1 静止画／動画／プリティアレンジカメラ撮影画面で[i]

静止画／プリティアレンジカメラの場合

動画の場合

1 チェイスフォーカス
2 コンティニュアスAF
3 AFモード
4 セルフタイマー
5 ISO感度
6 画質選択
7 シーン別撮影
8 サイズ選択
9 ホワイトバランス
10 保存先選択
11 手ぶれ補正
12 ピクチャーライト
13 長時間露光
14 連続撮影
15 顔登録情報表示
16 エフェクト撮影
17 共通再生モード
18 映像・音声切替
19 ファイルサイズ制限

- 設定の変更:✪で項目を選ぶ▶◉
- 撮影画面に戻る:[i]

カメラの設定を変える

● シャッター音の変更については☞P.89

microSDカード／自動お預かりフォルダに保存する<保存先選択>

撮影した画像をmicroSDカードやデータBOXのマイピクチャの[自動お預かり]フォルダに保存できます。

1 静止画／動画／プリティアレンジカメラ撮影画面で📷▶[保存先選択]

2 保存先を選ぶ▶◉

● microSDカードに保存できる動画の撮影時間はmicroSDカードのメモリにより異なります。映像が含まれる動画のとき、最長約1時間です。
● microSDカードに保存した静止画／動画の確認については☞P.363
● 保存先がmicroSDカードに設定されているとき、静止画は[カメラフォルダxxx](フォルダが複数あるときは「xxx」の数字が最も大きなフォルダ)に、動画は[カメラフォルダ]に保存されます。
● フォルダ内の保存件数が1000件を超えると、新しいフォルダが自動的に作成され、新しいフォルダに静止画／動画が保存されます。パソコンなどで利用したmicroSDカードは、管理情報の更新を行わないと保存できません(☞P.364)。

笑顔を検出するレベルを設定する<笑顔レベル>

● 次のような笑顔を検出できます。

レベル1(微笑)	微笑
レベル2	笑って歯が見える
レベル3	口を開けて大きく笑う

1 静止画撮影画面で📷▶[カメラ設定]▶[笑顔レベル]

2 設定を選ぶ▶◉

顔情報を登録する<顔登録>

顔の画像を撮影して顔情報として登録したり、登録した顔情報名とフォーカスマークを静止画撮影画面で表示し撮影できます(撮影した静止画には、表示された顔情報名が付加されます)。

● 顔情報は10件まで登録できます。
● データBOXに保存されている静止画からも、顔情報を登録できます(☞P.337)。

1 静止画撮影画面で📷▶[カメラ設定]▶[顔登録]

2 [新規登録]
- 登録済みの顔情報を編集:[編集]▶編集する顔情報を選ぶ▶◉▶操作4へ
  - 個人検出一覧画面が表示されます。

3 顔を検出する▶◉
- ディスプレイのガイド枠内に顔の位置を合わせてください。顔が検出されるとガイド枠が赤色になります。
- 顔情報がすでに10件登録されているときは、上書き確認画面が表示されます。[はい]を選択し、上書きする顔情報を選択すると登録できます。

4 [名前]欄を選ぶ▶◉▶顔情報名を入力▶◉
- 全角6文字(半角12文字)まで入力できます。

5 [フォーカスマーク]欄を選ぶ▶◉▶フォーカスマークを選ぶ▶◉

6 [i]▶[はい]

● 登録した顔情報名は分類登録[アルバム]内で表示される項目になります。
● 顔検出中のカメラ設定は、通常撮影時の設定とは異なります。
● 眉毛、目、口、鼻、耳を隠さず、目を開いた状態で正面を向いて撮影してください。次の画像は、検出性能が低下します。
■ ぼやけている画像　■ 強い光が当たっている画像
■ 周囲が暗い画像　■ 集合写真などのように顔が小さい画像

■ 顔情報を削除する

1 個人検出一覧画面で削除する顔情報を選ぶ ▶ [カメラ]

2 削除方法を選ぶ

◆ [1件削除] ▶ [はい]

◆ [選択削除] ▶ 顔情報を選ぶ ▶ ● ▶ [カメラ] ▶ [はい]

・ すべてを選択/解除:[i]

◆ [全件削除] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ● ▶ [はい]

■ 登録した顔情報を表示する<顔登録情報表示>

AFモードを[顔優先AF]に設定しているときに、登録した顔情報名とフォーカスマークを表示します。

1 静止画撮影画面で[カメラ] ▶ [カメラ設定] ▶ [顔登録]

2 [顔登録情報表示] ▶ [ON]

撮影時の設定をお買い上げ時の状態に戻すようにする<カメラ設定保持>

カメラモード終了時に次の設定を記憶し、次回静止画モードや動画モード、プリティアレンジカメラを同じ状態にして起動します。カメラモード終了時にお買い上げ時の状態に戻すには、設定を記憶させないようにします。

静止画撮影	サイズ選択、画質選択、保存先選択、手ぶれ補正、シーン別撮影、自動保存モード、ISO感度、笑顔レベル、顔登録情報表示、自動切替モード、ピクチャーライト、チェイスフォーカス、コンティニュアスAF ● [サイズ選択]、[画質選択]はメインカメラとサブカメラについてそれぞれの設定を保持します。
動画撮影	サイズ選択、画質選択、ファイルサイズ制限、バックライト点灯時間、保存先選択、手ぶれ補正、ノイズキャンセラ、ピクチャーライト
プリティアレンジカメラ	サイズ選択、画質選択、保存先選択、ピクチャーライト、コンティニュアスAF

1 静止画/動画/プリティアレンジカメラ撮影画面で[カメラ] ▶ [カメラ設定] ▶ [カメラ設定保持] ▶ [OFF]

メール/ブログ機能

撮影後すぐに静止画または動画を送る

静止画/動画撮影後、保存前の画面から、撮影した静止画や動画をメールに添付して送信できます。また、静止画の場合はデコメール®として送信したり、ブログ/SNSに投稿することもできます。

● 撮影した動画はｉモーションメールとして送信します。

● ブログ/SNSに投稿する場合は、あらかじめ投稿先を登録しておいてください(☞P.157)。

1 静止画プレビュー画面/連続撮影プレビュー画面で[メール]

● 動画撮影確認メニュー画面のとき:[メール作成] ▶ 操作3へ

2 送信方法を選ぶ

◆ [メール添付]

・ 撮影した静止画が添付されます。

◆ [メール挿入]

・ 撮影した静止画が本文に挿入され、デコメール®になります。

◆ [投稿] ▶ 投稿先を選ぶ ▶ [i]

・ 撮影した静止画が添付されます。

● 撮影した静止画は自動的に保存されます。

3 メール/デコメール®を作成・送信

● メール添付の場合、添付する静止画や動画によっては、画像サイズやファイルサイズを変更する画面が表示されます。表示される画面については、P.138「ファイルを添付する」を参照してください。

● メール挿入の場合、挿入する静止画によっては、画像サイズやファイルサイズを変更する画面が表示されます。表示される画面については、P.132「デコメール®を作成して送信する」を参照してください。

プリティアレンジカメラ

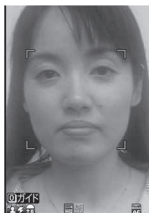
人物の顔を撮影してアレンジする

人物の顔を撮影したあとに、顔を小さくしたり、目を大きくしたりするなどのアレンジができます。

1 **カスタムメニューで[CAMERA]▶[プリティアレンジカメラ]**

2 ◉

- 静止画を撮影します。

3 [i]

- 撮影した顔画像の顔と目の大きさや肌の色が自動的に1回アレンジされ、顔アレンジ画面が表示されます。
- 顔画像を編集する：[📷]
  - ・撮影した顔画像が自動的に保存され、顔画像編集画面が表示されます。以降の操作については☞P.228
  - ・顔画像の編集を行うと、顔のアレンジ操作に戻れません。人物の顔をアレンジする場合は操作5のあとに顔画像の編集を行ってください。

4 **人物の顔をさらにアレンジする**

- 顔の大きさを変更する：[i]
- 肌の色を変更する：[✉]
- 目の大きさを変更する：[📷]
- 1つ前の状態に戻す：[📖]
- アレンジはそれぞれ2回まで操作でき、3回目の操作でアレンジされていない画像になります。3回以上アレンジする場合は、操作5のあとに[i]を押してください。

5 ◉

- アレンジを決定します。

6 ◉

- 画像を保存します。
- メールで送信：[✉]▶メールを作成・送信
- 高速赤外線通信で送信(IrSS™機能)(☞P.336)：[📖]▶送信方法を選ぶ▶◉

● 撮影時に顔が検出されていないと、顔をアレンジできないことがあります。
● 複数の顔が検出された場合、すべての顔がアレンジされます。
● 作成した画像はデータBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダに保存されます。

■ プリティアレンジカメラ画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、静止画撮影画面のサブメニュー操作(☞P.215)を参照してください。

■ カメラ切替 ■ カメラモード切替
■ 撮影メニュー(ピクチャーライト、セルフタイマー、明るさ調整、フレーム撮影)
■ フォーカス設定(AFモード、コンティニュアスAF) ■ サイズ選択
■ 画質選択 ■ カメラ設定(全画面モード切替、カメラ設定保持)
■ 保存先選択 ■ データBOX表示 ■ 操作ガイド

顔画像を編集する

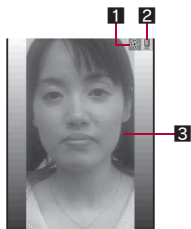
1 顔画像編集画面で顔画像を編集

2 [📷] ▶ [保存] ▶ [OK]

- タイトルの編集：[タイトル編集] ▶ タイトルを編集 ▶ ⦿ ▶ [i] ▶ [OK]
- 保存先の変更：[フォルダ変更] ▶ フォルダを選ぶ ▶ [📷] ▶ [i] ▶ [OK]

3 [📖]

- メールで送信したり、ブログ／SNSに投稿（☞P.226）：[📷] ▶ 送信方法を選んでメール／デコメール®を作成・送信
- 高速赤外線通信で送信（IrSS™機能）（☞P.336）：[✉] ▶ 送信方法を選ぶ ▶ ⦿

■ 顔画像編集画面の見かた

1 モードアイコン
- 利用中のモードによってアイコンが切り替わります。

2 操作アイコン
- 操作によってアイコンが切り替わります。

アイコン	内容	アイコン	内容
	スタンプ貼り付け		移動
	表示位置移動		

3 入力エリア
スタンプを貼り付けます。

■ 顔画像編集画面のボタン操作

操作	ボタン	操作	ボタン
スクロール	⊗	拡大／縮小	[3]／[1]
等倍⇔フィット	[2]	1つ前の状態に戻す	[📖]

■ 顔画像編集画面のサブメニュー操作

[プレビュー]

[保存]
- 以降の操作については☞P.228「顔画像を編集する」の操作2へ

[切り出して保存] ☞P.229

[アニメーション作成] ☞P.230

[拡大／縮小] ▶ 表示方法を選ぶ ▶ ⦿

[最初に戻る] ▶ [はい]
- 編集内容を取り消して最初の画像に戻ります。

[バックライト点灯時間] ▶ 設定を選ぶ ▶ ⦿
- 操作中のバックライトの点灯時間を設定します。

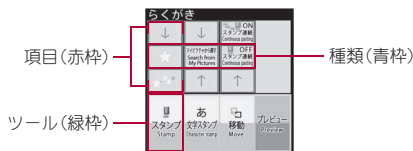
[アイコン表示] ▶ 設定を選ぶ ▶ ⦿
- モードアイコンと操作アイコンを常に表示するかどうかを設定します。

[最初に戻る]について
- アニメーション作成モードでは、アニメーション作成開始時の画像に戻ります。

設定や操作を変更する

顔画像編集時にパレットを表示して、スタンプの切り替えや種類の変更などができます。また、貼り付けたスタンプの移動やプレビュー画面の表示もできます。

1 顔画像編集画面で[✉]

2 [i]でツールを選ぶ▶ⓒで項目を選ぶ▶ⓒで種類を選んで青枠内に表示させる▶[✉]

■ パレットの内容

次の項目を変更できます。

ツール	内　容
スタンプ	スタンプ／文字スタンプを貼り付けます。
文字スタンプ	
移動	スタンプを移動して貼り付けます。 ● ⦿を押して移動したいスタンプを選択し、ⓒで移動位置を調整できます。⦿を押して移動します。
プレビュー	プレビュー画面を表示します。 ● [✉]を押すと元の画面に戻ります。 ● [i]を押すと保存、[📷]を押すと切り出し保存ができます。

スタンプを貼り付ける

● パレット表示中の操作については☞P.228

1 顔画像編集画面で[✉]

◆ [スタンプ]▶スタンプの種類を選ぶ▶スタンプ連続の設定を選ぶ▶[✉]▶⦿

・データフォルダから選ぶとき：スタンプ連続の設定を選ぶ▶[マイピクチャから探す]を選ぶ▶[✉]▶画像を選ぶ▶[i]▶⦿

◆ [文字スタンプ]▶入力する文字サイズや色を選ぶ▶[✉]▶文字を入力▶⦿▶⦿

2 ⓒで貼り付け位置を調整▶⦿

● [スタンプ連続ON]に設定したときは、一定間隔で貼り付けられます。

表示位置を移動する

顔画像を拡大して表示しているときに、画像を上下左右にスクロールできます。

1 顔画像編集画面で[i]

2 ⓒで移動

● 画面の拡大／縮小：[📖]／[✉]
● 元の画面に戻る：[i]

画像を切り出して保存する<切り出して保存>

画像の一部を切り出したり、画像のサイズを変更して保存できます。

1 顔画像編集画面で[📷]▶[切り出して保存]

2 サイズを選ぶ▶⦿

3 ⓒで切り出す範囲を枠内に移動▶[i]／⦿

● 画像の拡大／縮小：[📖]／[✉]
● 画像のサイズを枠のサイズに変更する：[2]

4 [OK]

● タイトルの編集：[タイトル編集]▶タイトルを編集▶⦿▶[i]▶[OK]
● 保存先の変更：[フォルダ変更]▶フォルダを選ぶ▶[📷]▶[i]▶[OK]

5 [📖]

● メールで送信したり、ブログ／SNSに投稿（☞P.226）：[📷]▶送信方法を選んでメール／デコメール®を作成・送信
● 高速赤外線通信で送信（IrSS™機能）（☞P.336）：[✉]▶送信方法を選ぶ▶⦿

GIFアニメーションを作成する<アニメーション作成>

顔画像編集した内容を自動的に5フレームに分割してGIFアニメーションを作成します。

1 顔画像編集画面で[カメラ]▶[アニメーション作成]▶サイズを選ぶ▶◉

2 ✪で切り出す範囲を枠内に移動

- 画像の拡大／縮小：[本]／[メール]
- 画像のサイズを枠のサイズに変更する：[2]

3 [i]

- アニメーション作成モードになります。
- 画面右上にスタンプを貼り付けられる回数が表示されます。

4 スタンプを貼り付ける

- 顔画像編集と同様にスタンプを貼り付けられます（☞P.229）。
  - ・スタンプは、2回まで貼り付けられます。
  - ・JPEG画像／GIF画像のスタンプを貼り付けた場合、［軌跡スタンプOFF］に設定したときは、点滅します。［軌跡スタンプON］に設定したときは、スタンプを移動させた軌跡をたどりながら表示します。
  - ・GIFアニメーションのスタンプを貼り付けた場合、［軌跡スタンプOFF］に設定したときは、GIFアニメーションを5分割して表示します。［軌跡スタンプON］に設定したときは、スタンプを移動させた軌跡をたどりながら1コマ目の画像を表示します。
- 作成したGIFアニメーションの保存については☞P.228「顔画像を編集する」の操作2へ

ショットメモ

ショットメモを利用する

斜めに撮影された画像の傾きを補正したり、白い背景の文字画像を読みやすくなるように補正することで撮影した画像をメモとして利用することができます。

1 カスタムメニューで［CAMERA］▶［ショットメモ］

- ［LIFEKIT］▶［ショットメモ］でも操作できます。

2 ◉

- 静止画を撮影します。

3 ◉

- 前の補正候補／次の補正候補に変更：[i]／[カメラ]
  - ・✪でも操作できます。

4 ◉

- 画像を保存します。
- メールで送信したり、ブログ／SNSに投稿（☞P.226）：[メール]▶送信方法を選んでメール／デコメール®を作成・送信
- 高速赤外線通信で送信（IrSS™機能）（☞P.336）：[本]▶送信方法を選ぶ▶◉

■ ショットメモ撮影画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、静止画撮影画面のサブメニュー操作（☞P.215）を参照してください。

■ カメラモード切替　■ 撮影メニュー（明るさ調整）　■ サイズ選択
■ データBOX表示　■ 操作ガイド

■ ショットメモプレビュー画面のサブメニュー操作

［画面設定］

▶［待受画面］▶［はい］
- ［待受画面］について☞P.216

▶［電話帳］▶電話帳に登録
- ［電話帳］について☞P.216

▶［スケジュール］▶スケジュールを登録
- ［スケジュール］について☞P.216

［位置情報貼付］▶◉▶［はい］
- 現在地確認の詳細については☞P.315

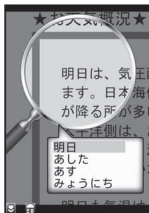
ラクラク瞬漢／瞬英ルーペ

ラクラク瞬漢／瞬英ルーペを利用する

カメラを使って漢字や英単語を読み取り、読みかたや意味をディスプレイに表示します。読み取った文字を辞書で検索することもできます。

- ラクラク瞬漢／瞬英ルーペで表示される読みかたや意味は「明鏡モバイル国語辞典」「ジーニアスモバイル英和辞典」 ©2005-2009 Taishukan をもとに表示しています。

1 カスタムメニューで[CAMERA]▶[ラクラク瞬漢／瞬英ルーペ]

- [LIFEKIT]▶[ラクラク瞬漢／瞬英ルーペ]でも操作できます。

2 ディスプレイのルーペ枠内に読み取る文字を表示

- 読み取り結果と読みかたや意味が吹き出しで表示されます。
  - 読みかたや意味は3個まで表示されます。4個以上ある場合は[etc]が表示されます。
  - 漢字を読み取った場合は、読みかたを表示します。
  - 英単語を読み取った場合は、意味を表示します。
- ディスプレイのルーペ枠内に表示する文字を変更するだけで、読み取り結果も変更されます。
- 読み取った文字を辞書で検索：読み取り結果表示中に◉▶辞書で検索する

- 読み取り結果は保存されません。
- 読みかたや意味は全角6文字まで表示され、7文字以上の場合は6文字目が「…」の表示となります。
- 傷、汚れ、光の反射、文字サイズなどによっては読み取れないときがあります。

■ ラクラク瞬漢／瞬英ルーペ画面のサブメニュー操作

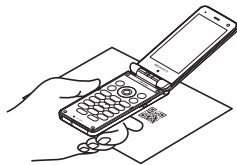
[カメラモード切替]▶カメラモードを選ぶ▶◉

[AFモード] ☞P.221

バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってバーコード（JANコード、QRコード）を読み取ると、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To、Bookmark登録、電話帳登録、文字表示、ｉアプリToを利用できます。読み取った文字のコピーや貼り付け、メロディの再生や保存、画像またはトルカの表示や保存を行うこともできます。

- 読み取り結果をmicroSDカードに保存することはできません。

JANコードとは

- 幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。
- 右のJANコードを読み取ると[4942857119022]と表示されます。
- JAN8、JAN13を読み取ることができます。

QRコードとは

- 縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。
- 右のQRコードを読み取ると[株式会社NTTドコモ]と表示されます。

CODE128とは

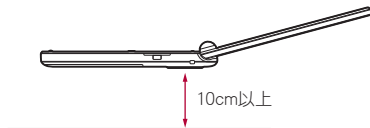
- 幅の異なる縦の線（バー）で数字やアルファベットなどを表現しているバーコードです。
- CODE128を読み取るには、対応しているｉアプリのソフトをダウンロードする必要があります（☞P.300）。

バーコード(JANコード、QRコード)から文字を読み取って利用する<バーコードリーダー>

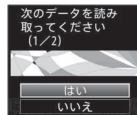
- バーコード(JANコード、QRコード)から読み取った文字を利用して、ｉモード接続、フルブラウザ接続、メール作成、音声電話やテレビ電話の発信、SMS作成、ｉアプリの起動などを行うことができます。
- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れないときがあります。

1 カスタムメニューで[CAMERA]▶[バーコードリーダー]

- [LIFEKIT]▶[バーコードリーダー]でも操作できます。

2 ディスプレイの中央に読み取るバーコード(JANコード、QRコード)を表示▶◉

- ディスプレイに表示されているバーコードを撮影せず、直接読み取ります。
- バーコード(JANコード、QRコード)の真正面からカメラまでを10cm以上離して、バーコードやFOMA端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。
- 読み取りが完了すると、完了音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。
- 読み取りの中断：[i]／CLR

分割されたデータについて

- QRコードには、分割されたデータ(最大16個)を読み取って１つのデータとなるものがあります。分割されたデータを読み取ったときはメッセージが表示されます。( )には残り個数／全連結数が表示されています。
  [はい]を選ぶと次のQRコードの読み取り画面に進みます。次のQRコードをディスプレイの中央に表示させせると、自動的に次のQRコードを読み取ります。操作を繰り返し、すべての分割されたデータを読み取ると読み取り結果が表示されます。

3 読み取り結果を利用する

- 読み取った文字や数字に下線が付いているとき：読み取った文字を選ぶ▶◉
  - 読み取った文字の内容に応じた画面が表示されます。
- 読み取った文字をすべてコピー：[i]

■ バーコードリーダー画面のサブメニュー操作

[カメラモード切替]▶カメラモードを選ぶ▶◉
[保存データ]▶保存データを選ぶ▶◉
[AFモード切替]▶設定を選ぶ▶◉

- AFモード切替の詳細については☞P.221

■ 読み取り結果画面のサブメニュー操作

[電話帳登録]▶電話帳に登録
[Bookmark登録]▶Bookmarkに登録
[コピー]▶始点を選ぶ▶◉▶終点を選ぶ▶◉
[保存]▶保存先を選ぶ▶◉

QRコードから画像、トルカやメロディを読み取って利用する

1 QRコードを読み取る

- 読み取り結果画面に、読み取ったデータの種類に合わせて[画像]／[メロディ]／[トルカ]と表示されます。

カメラ

2 ◉ ▶ 利用方法を選ぶ ▶ ◉

- 複数のトルカが含まれている場合に[表示]を選んだときは、先頭のトルカのみ取得します。
- [保存]を選んだときは、画像はデータBOXのマイピクチャの[外部取得データ]フォルダ、メロディはデータBOXのメロディの[外部取得データ]フォルダ、トルカはおサイフケータイメニューのトルカの[トルカフォルダ]内に保存されます。

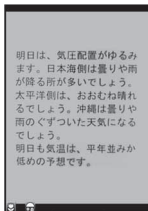
コラムリーダー

コラムリーダーを利用する

カメラを使って、新聞や雑誌などの記事を読み取り、メールやテキストメモを作成できます。

- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、文字サイズによっては、正しく読み取れないときがあります。

1 カスタムメニューで[CAMERA] ▶ [コラムリーダー]

- 読み取る領域を選ぶ:[i] ▶ 領域を選ぶ ▶ ◉

2 ディスプレイに読み取る文字を表示 ▶ ◉

- 領域を[オート]以外に設定した場合は、操作4へ

3 読み取るコラムを選ぶ ▶ ◉ ▶ [📷]

- カーソルを合わせているコラムは青色で表示されます。
- 選択したコラムは緑色で表示されます。
- 複数のコラムを選択できます。

4 読み取り結果を利用する

- 読み取った文字を辞書で検索:[📷] ▶ 辞書を選ぶ ▶ ◉ ▶ 辞書で検索する
- テキストメモを作成:◉ ▶ テキストメモを作成
- メールを作成:[✉] ▶ メールを作成・送信

■ コラムリーダー画面のサブメニュー操作

[カメラモード切替] ▶ カメラモードを選ぶ ▶ ◉

[AFモード] ☞P.221

英数字や記号を1行ずつ読み取る

URL、メールアドレス、電話番号、英単語を1行ずつ読み取って、利用することができます。

- 読み取れる文字は次のとおりです。URL、メールアドレス、電話番号、英単語などのカテゴリは、読み取った文字によって自動的に識別されます。漢字やひらがななど、全角の文字は認識できません。

URL	半角英字、半角数字、半角記号[. -(ハイフン)_ : / ~]
メールアドレス	半角英字、半角数字、半角記号[. @ -(ハイフン)_ :]
電話番号	半角数字、半角記号[-(ハイフン)+ P # *]
英単語	半角英字、半角数字、半角記号[-(ハイフン)/ ? ! @ + * ' ( ) , . &]

1 コラムリーダー画面で[✉]

- [✉]を押すたびに、コラムリーダーと1行読み取りが切り替わります。

2 ディスプレイの〔　〕枠内の中央に読み取る文字を表示 ▶ ◉

- 〔　〕の端の文字は読み取りにくいときがあります。
- 被写体表示の下にあるバーが最も青い色になるように、撮影する印刷物などとの距離を調整してください。
- 一度の操作で読み取る文字数は、60文字以内を目安にしてください。
- ピクチャーライト切替:[i]
- 反転モード切替:[4]
- 複数の行を撮影したとき:◎で読み取る行を指定
  - ・文字の読み取りは、1行単位で行います。

カメラ

3 ◉

- 読み取り結果の編集：◉
- 読み取り結果のカテゴリ変更：◎
  - ・読み取り結果が電話番号のときは、カテゴリを変更できません。
- 読み取りをやり直す：[m]▶[はい]

4 [i]▶**読み取り結果を利用する**

- URLを利用してサイトに接続（カテゴリ：URL）：[ｉモード接続]／[フルブラウザ接続]
- メールアドレスを利用してメールを作成（カテゴリ：Mail）：[はい]▶メールを作成・送信
- 電話番号を利用する（カテゴリ：Tel）
  - ・音声電話をかける：[発信]／◉▶[はい]
  - ・テレビ電話をかける：[i]▶[はい]
  - ・SMSを作成：[m]▶[はい]▶SMSを作成・送信
  - ・着もじを付ける：[✉]▶メッセージを選ぶ
- 読み取った文字を辞書で検索（カテゴリ：Word）：[はい]▶辞書を選ぶ▶◉▶辞書で検索する

- 読み取る文字のカテゴリが電話番号のとき、（　）は-（ハイフン）となります。また、電話帳に登録するときや電話をかけるときには、-（ハイフン）は削除されます。
- 読み取る文字のカテゴリがURLのとき、対象のURLの「http://」が一部省略されていても、読み取り結果に追加されます。

■ 1行読み取り画面のサブメニュー操作

[読み取り対象選択]▶カテゴリを選ぶ▶◉

[AFモード切替]▶設定を選ぶ▶◉
- AFモード切替の詳細については☞P.221

[反転モード切替]▶設定を選ぶ▶◉
- 読み取る文字の種類を切り替えます。

[反転モード切替]について
- 反転モードに応じて、画面中央のアイコンが[AUTO]／[A]／[A]に切り替わります。

■ 1行読み取り結果画面のサブメニュー操作

[続き読み取り]▶文字を読み取る
- 先に読み取った文字につなげて、1つの文として利用できます。256文字まで読み取りできます。

[追加読み取り]▶文字を読み取る
- 最大3回に分けて読み取った文字を、1つのグループとして関連づけます。

[電話帳登録]▶電話帳に登録

[Bookmark登録]▶Bookmarkに登録

[辞書検索]▶[はい]▶辞書を選ぶ▶◉▶辞書で検索する
- 辞書の検索方法の詳細については☞P.383

[編集]▶文字を編集▶◉

[全コピー]

[削除]▶[はい]

[電話帳登録]について
- 電話帳には識別したカテゴリに応じて、次の項目に登録されます。

[URL]	メモ	[Mail]	メールアドレス
[Tel]	電話番号	[Word]	名前／フリガナ

名刺リーダー

名刺リーダーを利用する

カメラを使って名刺（日本語、英語）を読み取り、FOMA端末電話帳に新規登録できます。

- 登録できる項目は次のとおりです。
  - ■名前　■フリガナ（姓のみ）
  - ■電話番号／携帯電話番号／FAX番号（最大合計3件）
  - ■メールアドレス（最大3件）　■会社・学校　■会社・学校のフリガナ
  - ■所属　■役職　■郵便番号　■住所
  - ■メモ（登録日、URL、その他の項目）　■ピクチャーコール設定

1 カスタムメニューで[CAMERA]▶[名刺リーダー]

- [LIFEKIT]▶[名刺リーダー]でも操作できます。

2 ディスプレイの中央に名刺を表示▶◉

- シャッター音が鳴ります。
- 名刺全体がディスプレイに表示されている枠に納まるようにFOMA端末を固定してください。名刺以外のもの、特に文字を含むものがディスプレイ内に入らないようにしてください。
- 名刺をディスプレイに表示する際、縦向き横向きどちらでも読み取ることができますが、斜めにはしないでください。
- できるだけ名刺を大きく表示すると読み取りやすくなりますが、カメラを名刺に近づけすぎるとピントが合いにくくなります。名刺からカメラまでの距離は約10cm離してください。

3 ◉▶電話帳に登録

- 撮影した名刺画像が自動的に保存され、電話帳登録画面が表示されます。電話帳登録画面には、読み取った項目が入力されています。
- 電話番号／携帯電話番号／FAX番号が合計４件以上あるときや、メールアドレスが４件以上あるときは、それぞれ上から３件目まで登録されます。電話種別アイコンは[ ]／[ ]／[ ]が、メールアドレス種別アイコンは[ ]が登録されます。
- 撮影した名刺画像はピクチャーコールに設定されます。ただし、発着信時や、リダイヤル／着信履歴の詳細画面では表示されません。

- 名刺によっては読み取れないものや、正しく認識されないものがあります。
- 読み取り対象外の名刺は次のとおりです。
  - 日本語および英語以外の名刺
  - 背景が付いている名刺
  - 手書きまたは手書き風のフォントを使用した名刺
  - 縦書きと横書きが混在した名刺
  - ディスプレイなどに表示された名刺
- 読み取り性能が低下する名刺は次のとおりです。
  - 文字が薄くコントラストの低い名刺
  - 極端に小さい文字を含む名刺
  - 斜体フォントを含む名刺
  - 光沢のある用紙に印刷された名刺
  - ロゴまたはロゴ風書体の文字を含む名刺
  - 文字どうしの間隔が狭く接触している文字を含む名刺
- フリガナは正しい読みかたにならない場合や、自動付与されないときがあります。
- 項目の分類は正しく認識されないことがあります。
- 撮影した名刺画像はデータBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダに保存されます。

■ 名刺リーダー画面のサブメニュー操作

[カメラモード切替]▶カメラモードを選ぶ▶◉

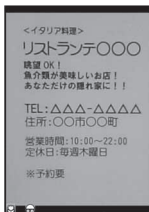
[AFモード] ☞P.221

情報リーダー

情報リーダーを利用する

カメラを使って、雑誌などから店名や電話番号などの情報を読み取り、FOMA端末電話帳に新規登録できます。

- 登録できる項目は次のとおりです。
  - 店名
  - 電話番号（最大３件）
  - メールアドレス（最大３件）
  - 住所
  - メモ（営業時間、定休日、URL、アクセス、その他の項目）
  - ピクチャーコール設定

1 カスタムメニューで[CAMERA]▶[情報リーダー]

2 ディスプレイの中央に情報を表示▶◉

- シャッター音が鳴ります。
- 読み取りたい情報がディスプレイに納まるようにFOMA端末を固定してください。ただし、ディスプレイに表示される文字が小さくなる場合は、電話番号や住所などを表示して読み取れる大きさにしてください。
- 読み取りたい情報をディスプレイの中央付近に表示してください。
- できるだけ読み取りたい情報を大きく表示すると読み取りやすくなりますが、カメラを読み取りたい情報に近づけすぎるとピントが合いにくくなります。読み取りたい情報からカメラまでの距離は約10cm離してください。

3 ◉▶電話帳に登録

- 撮影した画像が自動的に保存され、電話帳登録画面が表示されます。電話帳登録画面には、読み取った項目が入力されています。
- 電話番号やメールアドレスが4件以上あるときは、それぞれ上から3件目まで登録されます。
- 撮影した画像はピクチャーコールに設定されます。ただし、発着信時や、リダイヤル／着信履歴の詳細画面では表示されません。

- 雑誌などの記載内容によっては読み取れないものや、正しく認識されないものがあります。
- 読み取り対象外のものは次のとおりです。
  - ■ 漢数字で書かれた電話番号
- 読み取り性能が低下するものは次のとおりです。
  - ■ ざらついた紙面などに印刷されたもの
  - ■ 店名などにふりがながあるもの
  - ■ 部分的に文字が反転しているもの
- その他の読み取り対象外のものや、読み取り性能が低下するものなどの注意事項については、名刺リーダーを参照してください。
- 撮影した画像はデータBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダに保存されます。

■ 情報リーダー画面のサブメニュー操作

- 情報リーダー画面のサブメニュー操作は、名刺リーダー画面のサブメニュー操作（☞P.235）を参照してください。

カメラルーペ

ルーペとして利用する

カメラを使って新聞の小さい文字などを拡大し、ディスプレイで見ることができます。そのまま静止画撮影することもできます。

- 約3.6倍に拡大されて表示されます。

1 カスタムメニューで[CAMERA]▶[カメラルーペ]

- 静止画撮影する：P.214「静止画を撮影する」の操作2へ
- 静止画撮影と同様に設定を変更できます（☞P.219、P.225）。

ハンドミラー

ハンドミラーとして使う

サブカメラを使って手鏡のように利用することができます。そのまま静止画撮影することもできます。

1 カスタムメニューで[CAMERA]▶[ハンドミラー]

- 待受画面表示中に⑥や□を1秒以上押しても起動できます。
- 静止画撮影する：P.214「静止画を撮影する」の操作2へ
- 静止画撮影と同様に設定を変更できます（☞P.219、P.225）。

モーションデコ

動画撮影してデコメ®ピクチャを作成する

動画撮影したデータをGIFアニメーションとして読み取り、オリジナルのデコメ®ピクチャやデコメ絵文字®を作成できます。

- 撮影中に撮影残時間表示が00:00:00になると、自動的に撮影が停止します。
- データBOXに保存されている動画／ｉモーションからも、デコメ®ピクチャを作成できます（☞P.343）。

1 カスタムメニューで[CAMERA]▶[モーションデコ]

2 ディスプレイの赤枠内に読み取りたいものを表示▶◉

- 撮影開始音が鳴ります。
- 撮影を止めるとき：◉
  - 撮影停止音が鳴ります。

3 ◉

- デコメール®を送信（☞P.132）：✉▶デコメール®を作成・送信

■ モーションデコ撮影画面のサブメニュー操作

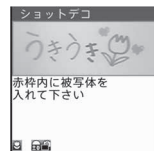
[カメラモード切替]▶カメラモードを選ぶ▶◉
[サイズ変更]▶サイズを選ぶ▶◉

- 撮影サイズが小さいほど、きれいな画像でデコメ®ピクチャ、デコメ絵文字®を作成できます。
- 撮影中にFOMA端末を閉じた場合は、撮影停止し、保存前のプレビュー画面が表示されます。
- 読み取った映像はデータBOXのマイピクチャの[デコメピクチャ]フォルダに保存されます（撮影サイズが「絵文字：20×20」のときは[デコメ絵文字]フォルダに保存されます）。

ショットデコ

静止画撮影してデコメ®ピクチャを作成する

静止画撮影した手書きの絵や文字をGIF画像として読み取り、オリジナルのデコメ®ピクチャやデコメ絵文字®を作成できます。また、読み取った画像を合成して、GIFアニメーションを作成することもできます。

1 カスタムメニューで[CAMERA]▶[ショットデコ]

2 ディスプレイの赤枠内に読み取る絵や文字を表示▶◉

- シャッター音が鳴ります。

3 ◉

- 画像の色を変更：1～6
- 画像の反転状態を変更：7
- 画像を元に戻す：8
- デコメール®を送信（☞P.132）：✉▶デコメール®を作成・送信

■ ショットデコ撮影画面のサブメニュー操作

[カメラモード切替]▶カメラモードを選ぶ▶◉
[サイズ変更]▶サイズを選ぶ▶◉
[静止画・アニメモード切替]▶モードを選ぶ▶◉

GIFアニメーションを作成する<アニメ>

最大5枚の画像を合成して、GIFアニメーションを作成できます。

1 ショットデコ撮影画面で[カメラキー]▶[静止画・アニメモード切替]▶[アニメ]

- [iキー]を押しても操作できます。
  - ・[iキー]を押すたびに、静止画モードとアニメモードが切り替わります。

2 ディスプレイの赤枠内に読み取る絵や文字を表示▶◉

- シャッター音が鳴ります。
- 最大5枚まで撮影します。
- 全枚数を撮影するか、[カメラキー]を押して撮影を中止すると、プレビュー画面が表示されます。

3 ◉

- 合成後の画像を確認：[iキー]
  - ・画像の保存：◉
- デコメール®を送信（☞P.132）：[メールキー]▶デコメール®を作成・送信

- 罫線付きのノートなどに書いても、罫線を除いて絵や文字を読み取ります（罫線を読み取る場合もあります）。また、白色の背景も除いて絵や文字のみ読み取ります。
- 読み取った画像はデータBOXのマイピクチャの［デコメピクチャ］フォルダに保存されます（撮影サイズが「絵文字：20×20」のときは［デコメ絵文字］フォルダに保存されます）。
- 被写体や撮影場所によってノイズが目立つ場合、明るさを調整するときれいに撮影できることがあります。